

【万葉古代学係彙報】（平成 31 年 1 月～令和元年 12 月）

平成 30 年度

- 1 月 4 日 一般展示室「万葉集と木簡」の展示替え（1 月 5 日～3 月 3 日）。
- 1 月 13 日 第 11 回委託共同研究「現代社会における古代文化の二次創作—サブカルチャーが描いた記紀・万葉集—」（研究代表者：橋本裕之氏）の第 5 回共同研究会を開催（会場：万葉文化館）。
- 1 月 14 日 第 11 回委託共同研究「現代社会における古代文化の二次創作—サブカルチャーが描いた記紀・万葉集—」（研究代表者：橋本裕之氏）の第 6 回共同研究会を開催（会場：万葉文化館）。
- 1 月 16 日 講座「万葉集をよむ」で、井上さやか指導研究員（以下、井上研究員）が「梅花の宴（815～846 番歌）」を講義。
- 1 月 17 日 奈良テレビ放送制作「ゆうドキッ！」の撮影に井上研究員・大谷歩主任研究員（以下、大谷研究員）・吉原啓主任技師（以下、吉原技師）が対応（1 月 30 日放送）。
- 1 月 27 日 奈良ちとせ祝ぐ寿ぐまつりツアーが来館し、井上研究員が万葉ミニ講座を実施。第 80 回万葉古代学講座において、吉原技師が「古代国家における「観風俗」の意義—大伴家持の越中巡行から—」と題して講演。
- 1 月 30 日 なら食と農の魅力創造国際大学の「奈良学入門講座」において、井上研究員が「『万葉集』の世界」と題して講義。
- 2 月 3 日 「奈良県立大学ユーラシア研究センターフォーラム 2019 ウタウ・奈良」（会場：奈良県立大学）において、井上研究員が「『万葉集』がうたう古代の奈良」と題して講演。
- 2 月 9 日 第 81 回万葉古代学講座において、大谷研究員が「家持のみた雪景—中宮西院の応詔歌—」と題して講演。  
奈良県主催、鳥根県・三重県・和歌山県・宮崎県協力、読売新聞社後援の「第 6 回古代歴史文化賞記念シンポジウム」（会場：銀座プロッサム）において、井上研究員が「いにしえ人のうたと暮らし」をテーマとしたパネルディスカッションに参加、「暮らしのなかの和歌」について報告し、犬飼隆氏（大賞受賞者）、武内恵美子氏（京都市立芸術大学准教授）とディスカッション。
- 2 月 16 日 万葉文化館ボランティア研修において、大谷研究員が「万葉集の基礎知識」と題して講義。
- 2 月 17 日 万葉文化館ボランティア研修において、井上研究員と吉原技師が実地研修Ⅱの講師を務める。
- 2 月 20 日 講座「万葉集をよむ」で、吉原技師が「梅の歌に和へたる歌（847～852 番歌）」を講義。
- 2 月 24 日 奈良市中部公民館主催のトークイベント「知れば知るほど好きになる奈良」（会場：奈良市中部公民館）において、井上研究員が「行基の時代と万葉歌」と題して報告し、西山厚氏（帝塚山大学教授）、馬場基氏（奈良文化財研究所史料研究室長）と鼎談。
- 3 月 2 日 香芝検定実行委員会主催の香芝市を知る歴史講座において、吉原技師が「香芝の古代と万葉集」と題して講義。
- 3 月 8 日 一般展示室「万葉集と木簡」の展示替え（3 月 9 日～5 月 6 日）。
- 3 月 16 日 第 11 回委託共同研究「現代社会における古代文化の二次創作—サブカルチャーが描

『万葉古代学研究年報』第18号(2020年)

- いた記紀・万葉集一」(研究代表者:橋本裕之氏)の第7回共同研究会を開催(会場:万葉文化館)。
- 3月17日 第11回委託共同研究「現代社会における古代文化の二次創作—サブカルチャーが描いた記紀・万葉集一」(研究代表者:橋本裕之氏)の第8回共同研究会を開催(会場:万葉文化館)。
- 3月20日 講座「万葉集をよむ」で、大谷研究員が「大伴旅人の松浦河に遊ぶの序と歌(853～863番歌)」を講義。
- 3月22日 日経カルチャー主催の「はじめてよむ、万葉集」(会場:日経本社ビル)において、井上研究員が「万葉歌の時代—飛鳥宮・藤原京・平城京—」と題して講義。
- 3月24日 鞆工房山本主催の展示会(会場:万葉文化館)において、井上研究員が「『まんようしゅう』ってなーに?」と題して講義。
- 平成31年度
- 4月1日 吉原技師が主任研究員に昇任(以下、吉原研究員)。  
新聞・TV各社の新元号に関する取材に稲村館長・上島企画普及課長・井上研究員が対応。
- 4月4日 静岡放送ラジオに井上研究員が出演。
- 4月6日 万葉集をよむ講座関連展示「大伴旅人 梅花の歌と讃酒歌」を開催(4月6日～5月6日)。
- 4月9日 館蔵品展「巨匠が残した万葉日本画～響き合うことばと絵画～」において、改元記念特別展示を実施。
- 4月10日 ドナルド・キーン氏(「NARA万葉世界賞」審査員)のお別れの会に稲村和子館長と井上研究員が参列。
- 4月12日 MBSラジオ「ありがとう浜村淳です」に井上研究員が出演。
- 4月17日 講座「万葉集をよむ」で、井上研究員が「吉田宜の書簡(864～867番歌)」を講義。  
奈良テレビ「せんとくん通信」の撮影取材に井上研究員が対応。
- 4月18日 雑誌『家庭画報』の取材に井上研究員が対応し、記事を監修。
- 4月19日 日経カルチャー主催の「はじめてよむ、万葉集」(会場:日経本社ビル)において、大谷研究員が「額田王の歌をよむ—恋と季節へのまなざし—」と題して講義。
- 4月26日 みさと万葉学習会(会場:三郷町立図書館)において、吉原研究員が「平隆寺の再検討—文献資料を中心に—」と題して講演。  
スカパー!プレミアム鉄道チャンネル「徳永ゆうきのぐるっと歌テツ旅」に井上研究員が出演(5/5、6/2、10/6放送)。
- 4月28日 NHKラジオ「ナイツの万葉のココロ」(前・後編)に井上研究員が出演。(5月3日・4日放送)
- 5月1日 新元号「令和」改元記念「万葉集をよむ」特別講座として、井上研究員が講義(同日2回開催)。
- 5月2日 テレビ大阪の「やさしいニュース」に大谷研究員が出演(同日放送)。
- 5月4日 雑誌『一個人』の取材に井上研究員が対応し、記事を監修。
- 5月10日 近鉄ケーブルネットワークの取材に吉原研究員が対応し、出演。  
みさと万葉学習会(会場:三郷町立図書館)において、大谷研究員が「梅花の歌」と「梅

万葉古代学係彙報（平成31年1月～令和元年12月）

- 花落」―大伴旅人と中国文学―」と題して講演。
- 一般展示室「万葉集と木簡 part II」の展示替え（5月11日～6月30日）。
- 5月12日 美夫君志会共催「奈良県立万葉文化館「万葉日本画（複製）」展」（会場：中京大学）を開催。
- 5月14日 朝日放送テレビ「おはよう朝日です」に吉原研究員が出演。  
奈良県観光ガイドブック「祈りの回廊」の取材に井上研究員が対応し、記事を監修。
- 5月15日 講座「万葉集をよむ」で、吉原研究員が「山上憶良の松浦の歌（868～870番歌）」を講義。
- 5月16日 宮崎県大阪事務所一行が来館、井上研究員が対応。
- 5月17日 日経カルチャー主催の「はじめてよむ、万葉集」（会場：日経本社ビル）において、井上研究員が「人麻呂・赤人・家持―それぞれが詠んだ自然―」と題して講義。
- 5月19日 第38回万葉古代学東京講座において、大谷研究員が「『懐風藻』と藤原氏―飛鳥からはじまる文人の系譜―」と題して講演。第19回夕星万葉において、井上研究員が「難波・吉野行幸歌群（巻1・64～75番歌）」と題して講義（いずれも会場は奈良まほろば館）。近畿ESDコンソーシアム主催の「『万葉集』を活用した教材づくり」研修会（会場：万葉文化館）に吉原研究員が参加。
- 5月22日 奈良テレビの「ならいいね！」に大谷研究員が出演（6月8日放送）。  
講座「日本書紀をよむ」で、松尾光氏（早稲田大学エクステンションセンター講師・当館研究顧問）が「雄略紀①―葛城氏・吉備氏との確執―」と題して講義。  
共同通信社の取材に大谷研究員・吉原研究員が対応。
- 5月23日 関西大学文学部一行が来館、大谷研究員・吉原研究員が館内を案内。
- 6月13日 研究員個人研究の説明会を実施。
- 6月15日 第11回委託共同研究「現代社会における古代文化の二次創作―サブカルチャーが描いた記紀・万葉集―」（研究代表者：橋本裕之氏）の第9回共同研究会を開催（会場：万葉文化館）。
- 6月16日 第11回委託共同研究「現代社会における古代文化の二次創作―サブカルチャーが描いた記紀・万葉集―」（研究代表者：橋本裕之氏）の第10回共同研究会を開催（会場：万葉文化館）。
- 6月19日 講座「万葉集をよむ」で、大谷研究員が「松浦佐用姫の歌（871～875番歌）」を講義。
- 6月20日 三重テレビ「ええじゃないか。ふれあいたっぷり旅」の撮影取材に、井上研究員が対応。（三重テレビ7/29、奈良テレビ8/1放送）  
奈良テレビ「ならナビ」生中継に井上研究員が出演。
- 6月23日 第39回万葉古代学東京講座において、井上研究員が「『万葉集』における飛鳥のカムナビ」と題して講演。第20回夕星万葉において、吉原研究員が「平城遷都の歌（巻1・76～80番歌）」と題して講義（いずれも会場は奈良まほろば館）。
- 6月25日 イオン銀行主催のイオンシネマセミナー（会場：イオン高の原店シネマ）において、吉原研究員が「大伴旅人の梅花宴と万葉日本画」と題して講義。
- 6月28日 宮崎県大阪事務所・県立看護大学一行が来館し、井上研究員が館内を案内。
- 7月5日 一般展示室「万葉集と木簡 part II」の展示替え（7月6日～9月23日）。
- 7月13日 特別展「マンガで語る古代大和Ⅱ―里中満智子『天上の虹』にみる持統天皇誕生の物語―」を開催（～9月23日まで）。展示企画から展示作業まで協力。
- 7月17日 講座「万葉集をよむ」で、井上研究員が「公的な宴・私的な宴（876～882番歌）」と

題して講義。

特別展「マンガで語る古代大和Ⅱ」で、吉原研究員が西田彩乃主任学芸員（以下、西田学芸員）と共同でギャラリートークを実施。

- 7月20日 第12回委託共同研究「万葉集の作歌をめぐる都市交通史的研究」（研究代表者：小鹿野亮氏）の第1回共同研究会を開催（会場：万葉文化館）。  
東京奈良県人会若手の会主催の第28回なら若手の会（会場：奈良まほろば館）において、大谷研究員が「令和と『万葉集』—「梅花の歌」と中国文学—」と題して講演。  
日経カルチャーツアー主催の「万葉集でめぐる奈良 明日香」において、井上研究員が館内を案内。
- 7月21日 第40回万葉古代学東京講座において、吉原研究員が「天武天皇と富本銭—飛鳥池工房遺跡から考える—」と題して講演。第21回夕星万葉において、大谷研究員が「奈良時代の歌（巻1・81～84番歌）」と題して講義（いずれも会場は奈良まほろば館）。  
日経カルチャーツアー主催の「万葉集でめぐる奈良 明日香」において、井上研究員が奥飛鳥を案内。
- 7月24日 講座「日本書紀をよむ」で、松尾光氏（早稲田大学エクステンションセンター講師・当館研究顧問）が「雄略紀②—雄略天皇と大悪天皇」と題して講義。  
BSフジ撮影取材に井上研究員が対応。
- 7月27日 近畿ESDコンソーシアム主催の「『万葉集』を活用した教材づくり」研修会（会場：万葉文化館）に大谷研究員が参加。
- 7月28日 第11回委託共同研究「現代社会における古代文化の二次創作—サブカルチャーが描いた記紀・万葉集—」（研究代表者：橋本裕之氏）の第11回共同研究会を開催（会場：万葉文化館）。  
万葉こども教室で「令和ゆかりの「梅」を描こう！」を実施。大谷研究員が講師を務める。
- 7月31日 まほろば歴史同好会（会場：橿原観光ホテル）において、吉原研究員が「天武・持統天皇と本薬師寺」と題して講義。
- 8月1日 明日香村教育委員会の教員研修（会場：万葉文化館）において、大谷研究員が「『万葉集』の基礎知識」と題して講義。
- 8月2日 万葉こども教室で「富本銭づくり」を実施。吉原研究員が講師を務める。
- 8月3日 万葉こども教室で「万葉ことばあそび」を実施。井上研究員が講師を務める。
- 8月15日 万葉こども教室で「勾玉づくり」を実施。吉原研究員が講師を務める。
- 8月20日 奈良県立大学ユーラシア研究センター主催の「近世・近代の思想研究会」（会場：万葉文化館）において、井上研究員が「万葉と飛鳥—近世資料から」と題して講義。
- 8月21日 講座「万葉集をよむ」で、吉原研究員が「佐用姫の歌に和へたる歌（883～885番歌）」と題して講義。  
特別展「マンガで語る古代大和Ⅱ」で、大谷研究員が西田学芸員と共同でギャラリートークを実施。
- 8月24日 近畿ESDコンソーシアム主催の「『万葉集』を活用した教材づくり」研修会（会場：万葉文化館）に井上研究員が参加。
- 8月25日 桜井市観光協会主催の「第58回桜井市夏季大学」（会場：大神神社）において、井上研究員が「『万葉集』における桜と梅—新元号によせて—」と題して講演。

万葉古代学係彙報（平成 31 年 1 月～令和元年 12 月）

- 8 月 27 日 邱愛傑奈良県海外技術研修員が着任。  
奈良県議会総務警察委員会の視察において、井上研究員が「『万葉集』と「令和」」について説明。
- 8 月 28 日 ノートルダム清心女子大学・東城ゼミが来館し、大谷研究員が館内を案内。  
千葉大学・兼岡ゼミが来館し、井上研究員が館内を案内。
- 8 月 31 日 第 12 回委託共同研究「万葉集の作歌をめぐる都市交通史的研究」（研究代表者：小鹿野亮氏）の第 2 回共同研究会を開催（会場：万葉文化館）。
- 9 月 1 日 万葉古代学東京講座・追加講座において、大谷研究員が「『懐風藻』と藤原氏一飛鳥からはじまる文人の系譜」と題して、吉原研究員が「天武天皇と富本銭一飛鳥池工房遺跡から考える」と題して講演（いずれも会場は奈良まほろば館）。
- 9 月 4 日 講座「日本書紀をよむ」で、松尾光氏（早稲田大学エクステンションセンター講師・当館研究顧問）が「清寧紀～継体紀一暴虐伝承と王系交替」と題して講義。
- 9 月 5 日 NPO 法人のべおか天下一市民交流機構主催の能楽講座（会場：延岡市民協働まちづくりセンター）において、井上研究員が「謡曲「海士」と藤原房前」と題して講義。  
上智大学・瀬間ゼミが来館し、大谷研究員が館内を案内。
- 9 月 7 日 城陽市東部コミュニティセンター主催の講演会で、吉原研究員が「万葉時代の改元と祥瑞」と題して講義。
- 9 月 10 日～12 日 館蔵古典籍の撮影を実施。
- 9 月 11 日 奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合主催の研修会（会場：万葉文化館）において、大谷研究員が「『万葉集』と令和」と題して講義。
- 9 月 14 日 山の辺文化会議主催の山の辺文化講座（会場：天理市文化センター）において、井上研究員が「『万葉集』と元号」と題して講義。
- 9 月 16 日 万葉の日記念講演会で、辰巳正明氏（國學院大學名誉教授）が「『令和』から読む万葉集一大伴旅人と梅花の宴の世界」と題して講演。
- 9 月 17 日 NHK ラジオ大阪「ラジオ深夜便」に井上研究員が出演（10 月 5 日放送）。
- 9 月 18 日 講座「万葉集をよむ」で、大谷研究員が「大伴熊凝の死（886～891 番歌）」と題して講義。  
特別展「マンガで語る古代大和Ⅱ」で、井上研究員が西田学芸員と共同でギャラリートークを実施。
- 9 月 19 日 奈良テレビ「ゆうドキッ！」撮影取材に、井上研究員が対応（9 月 27 日放送）。
- 9 月 21 日 吉野町主催の「吉野歴史資料館連携講座」（会場：近鉄文化サロン）において、井上研究員が「古代の吉野と『万葉集』」と題して講義。
- 9 月 22 日 桜井市立図書館主催の図書館文学講座（会場：同図書館）で、吉原研究員が「磐余池と大津皇子の詩歌」と題して講義。
- 9 月 24 日 古都飛鳥保存財団主催の「飛鳥学冠位叙任試験」問題作成委員会に、井上研究員が出席。
- 9 月 25 日 同朋大学文学部特別講座（会場：同朋大学）において、井上研究員が「『万葉集』の愉しみ」と題して講演。
- 9 月 27 日 万葉文化館ボランティア研修において、吉原研究員が「飛鳥池遺跡について」と題して講義。  
一般展示室「万葉集と木簡 part II」の展示替え（9 月 28 日～11 月 17 日）
- 9 月 28 日 第 11 回委託共同研究「現代社会における古代文化の二次創作—サブカルチャーが描

『万葉古代学研究年報』第18号(2020年)

- いた記紀・万葉集一」(研究代表者:橋本裕之氏)の第12回共同研究会を開催(会場:万葉文化館)。
- NHKラジオ第一「ドイツの万葉のココロ～秋編～」に井上研究員が出演(生放送、10/22再放送)。
- 9月29日 クラブツーリズム主催の特別講義(会場:万葉文化館)において、井上研究員が『万葉集』の世界と新元号令和について」と題して講義。
- 10月1日 檜原市主催のシニア塾(会場:檜原市保健福祉センター)において、大谷研究員が「令和」にまつわる万葉歌を読もう!」と題して講義。  
王寺町観光協会主催「歴史プレミアムサロン」のバスツアーで、吉原研究員が引率講師を務める。
- 10月5日 小燕会主催の第8回小燕会書展「飛々」の講演会(会場:万葉文化館)において、大谷研究員が「万葉集と令和」と題して講義。
- 10月7日 大分県神社庁主催の合同研修会(会場:別府ロイヤルホテル)において、井上研究員が「大分県ゆかりの万葉歌一「令和」とともに一」と題して講義。
- 10月8日 JR東海プレスツアー一行(紙媒体)が来館し、大谷研究員が館内案内。
- 10月14日 アспен・エグゼクティブ・セミナー一行が視察来館し、吉原研究員が館内案内。
- 10月16日 講座「万葉集をよむ」で、井上研究員が「貧窮問答(892～893番歌)」と題して講義。
- 10月17日 奈良県観光プロモーション一行が視察来館し、吉原研究員が館内案内。  
王寺町観光協会主催「歴史プレミアムサロン」(会場:王寺町地域交流センター)において、大谷研究員が『万葉集』と藤原京」と題して講義。  
奈良テレビ「ゆうドキッ!」の取材に井上研究員が対応(10月23日放送)。  
JR東海プレスツアー一行(Web媒体)が来館し、井上研究員が館内案内。
- 10月18日 宮崎県主催の「記紀みらい塾」(会場:宮崎県立宮崎北高等学校)において、井上研究員が『万葉集』に詠まれた日向神話」と題して講義。
- 10月19日 宮崎県主催の「神話のふるさと県民大学」(会場:メディキット県民文化センター)において、演出家の宮本亞門氏の基調講演「ニッポンを演出する」に続き、井上研究員が天孫降臨神話について報告し、宮本氏と対談。  
ユニバーサルミュージアム研究会(会場:明日香村内・明日香川辺)において、吉原研究員が『万葉集』巻11-2701番歌を講義。
- 10月20日 斎宮歴史博物館開館30周年記念・史跡斎宮跡指定40周年記念シンポジウム・奈良県立万葉文化館・鳥根県立古代出雲歴史博物館・三重県立斎宮歴史博物館三館連携事業「東雲の時代の女性たち～大和・出雲・そして斎宮～」(会場:斎宮歴史博物館)において、吉原研究員が『万葉集』の女性たち」と題して報告。仁藤智子氏(国士館大学教授)、吉松大志氏(古代出雲歴史博物館主任学芸員)、岸田早苗氏(斎宮歴史博物館学芸員)とのシンポジウムに登壇。
- 10月25日 青翔中学校一年生が来館し、大谷研究員・吉原研究員が万葉歌と古代の衣装について講義。
- 10月27日 万文万葉市のトークイベント「古代の市を語る」(会場:万葉文化館)において、井上研究員・大谷研究員・吉原研究員が鼎談。
- 11月2日 第16回公開シンポジウム「聖なるイメージの東西」を開催。第6回主宰共同研究「神

## 万葉古代学係彙報（平成31年1月～令和元年12月）

話の視覚化に関する比較文化的研究—記紀万葉を軸に—」（平成29・30年度実施。研究代表者・井上研究員）の成果報告として実施。稲村和子万葉文化館館長による挨拶の後、「総論／記紀神話と欧文挿絵本」井上研究員、「文化による神話図像表現の違いとその理由」松村一男氏（和光大学教授）、「描かれた日本神話—日本近代の「歴史画」に見る」菅原真弓氏（大阪市立大学教授）、「神仙世界の具象化—古代日本庭園における〈見立て〉の文学—」大谷研究員、「龍田風神祭の祝詞に見る神話の視覚化」吉原研究員による報告の後、報告者5名によるディスカッションを井上研究員の司会により行った。

第11回委託共同研究「現代社会における古代文化の二次創作—サブカルチャーが描いた記紀・万葉集—」（研究代表者：橋本裕之氏）の第13回共同研究会を開催（会場：万葉文化館）。

- 11月6日 桜井市校長会一行が来館し、井上研究員が「『万葉集』と新元号—附 棟方志功の万葉歌碑—」と題して講義。
- 11月10日 古都飛鳥保存財団主催の万葉ウォーク「飛鳥・藤原の万葉歌碑を巡る」において、井上研究員が引率講師を務める。
- 11月13日 講座「日本書紀をよむ」で、松尾光氏（早稲田大学エクステンションセンター講師・当館研究顧問）が「安閑紀～欽明紀—二朝並立と朝鮮半島情勢」と題して講義。
- 11月16日 近畿ESDコンソーシアム主催の「『万葉集』を活用した教材づくり」研修会（会場：万葉文化館）において、井上研究員が「『万葉集』と「令和」」と題して講義。
- 11月17日 徳島県保険医協会一行が来館し、井上研究員が「『万葉集』と「令和」」と題して講義。
- 11月20日 万葉文化館ボランティアのバス研修（踏査地：和歌山県）を、大谷研究員が引率。一般展示室「万葉集と木簡 part II」の展示替え（11月23日～1月26日）。
- 11月21日 王寺町観光協会主催「歴史プレミアムサロン」（会場：王寺町地域交流センター）において、井上研究員が「平城京の時代と歌の文化」と題して講義。
- 11月22日 令和元年度奈良県大芸術祭万葉浪漫実行委員会主催の「万葉歌碑めぐり」において、吉原研究員が引率講師を務める。
- 11月23日 特別展「全国一の宮展～西田眞人が描く一の宮の世界～」を開催（～令和2年1月26日まで）。歴史・考古系展示部分の展示企画から展示作業まで協力。
- 11月24日 東京都中央区主催の「中央区民カレッジ」（会場：奈良まほろば館）において、井上研究員が「『万葉集』巻五と大伴旅人」と題して講義。
- 11月27日 講座「万葉集をよむで、吉原研究員が「遣唐使におくる歌（894～896番歌）」と題して講義。
- 11月30日 霊山寺主催の「霊山寺塾」において、井上研究員が「『万葉集』と元号」と題して講義。大阪府保険医協会枚方・交野支部主催の記念講演会（会場：ひらかた仙亭）において、大谷研究員が「令和と『万葉集』の世界—はじめてよむ『万葉集』—」と題して講義。
- 12月4日 音訳グループひびきが来館し、井上研究員が「万葉集と元号」について講義（録音内容を編集して視覚障がい者に提供）。
- 12月10日 奈良県立大学ユーラシア研究センター「近世奈良を語る会」（会場：奈良県立大学）において、井上研究員が「近世・近代の万葉集研究—下河辺長流を軸に—」と題して研究発表。

- 12月12日 古都飛鳥保存財団主催の「飛鳥学冠位叙任試験」問題作成委員会(会場:古都飛鳥保存財団)に、井上研究員が参加。
- 12月14日 奈良県立橿原考古学研究所主催の「万葉歌、DNAそして水田発掘が語る古いおコメと田んぼのはなし」(会場:万葉文化館)において、吉原研究員が「文献からみた奈良・平安時代の稲の種類・収量と社会」と題して講演。  
龍谷大学同窓会一行が来館し、大谷研究員が館内案内。
- 12月18日 講座「万葉集をよむ」で、大谷研究員が「山上憶良の生死論(沈痾自哀の文)」と題して講義。
- 12月19日 読売新聞社・古都飛鳥保存財団主催の座談会「飛鳥を語る」に、飛鳥学冠位叙任試験問題作成委員として井上研究員が参加(4月頃に3回分載予定)。

※ほか「令和」等に関する取材等への対応多数

◆**展覧会・イベント等への学術情報提供**

にぎわいフェスタ万葉 夏(令和元年7月~8月)

- ・万葉こども教室「うちわに万葉の花を描こう!」における万葉歌の解説
- ・「巨大めいろに挑戦!」における万葉クイズの提供

にぎわいフェスタ万葉 秋(令和元年9月~11月)

- ・コンサート配布プログラムにおける万葉歌紹介(1公演)

にぎわいフェスタ万葉 冬(令和元年12月~令和2年3月)

- ・コンサート配布プログラムにおける万葉歌紹介(1公演)

◆**専任研究員の主な業績(平成31年1月~令和元年12月)**

井上 さやか

[研究論文]

「古代と近代における文化の創造—大伴家持の賀陸奥国出金詔書を軸に一」(『万葉古代学研究年報』第17号)、平成31年3月

「古代日本における文学と芸能—飛鳥京跡苑池と伎楽と万葉歌—」(『東アジア比較文化研究』第18号)、令和元年7月

「神岳の山の黄葉」(『美夫君志』第99号)、令和元年10月

[研究発表]

「大伴坂上大嬢」(美夫君志会例会)、平成31年3月

「万葉と飛鳥—近世資料から」(奈良県立大学ユーラシア研究センター「近世・近代の思想研究会」)、令和元年8月

「近世・近代の万葉集研究—下河辺長流を軸に一」(奈良県立大学ユーラシア研究センター「近世奈良を語る会」)、令和元年12月

[解題・書評・評論など]

「新春特集・日本の将来を語る 古代日本の文化力—多様性を力に変えるために—」(『日本教育』第484号)、平成31年1月

「奈良県立万葉文化館蔵「伝江南院龍霄筆切」解題」(『万葉古代学研究年報』第17号)、平成31年3月

「令和特集」特別寄稿（「産経新聞」5月1日夕刊）、令和元年5月〔再掲：5月2日東京版朝刊〕  
特集 播磨と万葉集「『万葉集』の愉しみ」（公益財団法人姫路市文化国際交流財団「BanCul」No.113  
2019年秋号）、令和元年9月

「『万葉集』のなかの明日香と藤原」（『日本の古代国家誕生—飛鳥・藤原の宮都を世界遺産に』ブック  
エンド）、令和元年12月

新刊紹介「辰巳正明氏著『懐風藻 古代日本漢詩を読む』（『美夫君志』第99号）、令和元年10月

[その他]

「はじめての万葉集 vol.57 吉野よく見よ」（「県民だより奈良」2019年1月号〔第391号〕、奈良県  
広報広聴課）、平成31年1月

「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、平成31年1月9日）

「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、平成30年1月23日）

「はじめての万葉集 vol.60 吾妹子をいざ見の山」（「県民だより奈良」2019年4月号〔第394号〕、  
奈良県広報広聴課）、平成31年4月

「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、平成31年4月10日）

「飛鳥学冠位叙任試験より No.43」（読売新聞〈奈良版〉、平成31年4月10日）

「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、平成31年4月24日）

「飛鳥学冠位叙任試験より No.44」（読売新聞〈奈良版〉、平成31年4月24日）

「はじめての万葉集 vol.63 人はよし思ひ止むとも」（「県民だより奈良」2019年7月号〔第397号〕、  
奈良県広報広聴課）、令和元年7月

「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和元年7月10日）

「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和元年7月24日）

「はじめての万葉集 vol.66 山吹の咲く泉」（「県民だより奈良」2019年10月号〔第400号〕、奈良  
県広報広聴課）、令和元年10月

「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和元年10月16日）

「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和元年11月6日）

## 大谷 歩

[研究論文]

「大伴家持と白雪応詔歌群—君臣和楽の歌の形成をめぐって—」（「万葉古代学研究年報」第17号）、  
平成31年3月

「秋田県金澤八幡宮「掛唄」の民族行事とその文化的意義—奈良県立万葉文化館・一般展示室「日本  
とアジアの歌」における基礎調査—」（「万葉古代学研究年報」第17号）、平成31年3月

「新羅使と長屋王の饞宴詩」（「東アジア比較文化研究」第18号）、令和元年9月

[研究発表]

「『万葉集』における「歌曰」の意義—〈歌〉が持つ真意伝達の形式について—」（全国大学国語国文  
学会夏季大会）令和元年6月

「久米禪師と石川郎女の贈答歌」（美夫君志会万葉ゼミナール）令和元年9月

[解題・書評・評論など]

「奈良県立万葉文化館蔵「尼崎本万葉集断簡（尼崎切）」解題」（「万葉古代学研究年報」第17号）、平  
成31年3月

[その他]

- 「はじめての万葉集 vol.59 見れど飽かぬ吉野の川」(「県民だより奈良」2019年3月号〔第393号〕、奈良県広報広聴課)、平成31年3月
- 「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、平成31年3月6日)
- 「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、平成31年3月27日)
- 「はじめての万葉集 vol.62 和と漢の融合(新元号「令和」記念)」(「県民だより奈良」2019年6月号〔第396号〕、奈良県広報広聴課)、令和元年6月
- 「最愛の家族の発見——『万葉集』の防人歌」(「図書館教育ニュース」第1500号付録、少年写真新聞社)、令和元年6月8日
- 「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、令和元年6月12日)
- 「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、令和元年6月26日)
- 「はじめての万葉集 vol.65 安見兎得たり」(「県民だより奈良」2019年9月号〔第399号〕、奈良県広報広聴課)、令和元年9月
- 「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、令和元年9月18日)
- 「『文選』と『万葉集』」(「万葉図書・情報室だより」第53号、令和元年10月)
- 「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、令和元年10月2日)
- 「はじめての万葉集 vol.68 草壁皇子を偲ぶ」(「県民だより奈良」2019年12月号〔第402号〕、奈良県広報広聴課)、令和元年12月
- 「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、令和元年12月18日)

吉原 啓

[研究論文]

- 「律令国家における「観風俗」の意義—大伴家持の越中巡行を基点として—」(「万葉古代学研究年報」第17号)、平成31年3月

[研究発表]

- 「文献からみた奈良・平安時代の稲の種類・収量と社会」(万葉歌、DNAそして水田発掘が語る古いおコメと田んぼのはなし) 令和元年12月

[解題・書評・評論など]

- 「奈良県立万葉文化館蔵「金沢文庫本万葉集断簡」解題」(「万葉古代学研究年報」第17号)、平成31年3月

[その他]

- 「はじめての万葉集 vol.58 大津皇子の死」(「県民だより奈良」2019年2月号〔第392号〕、奈良県広報広聴課)、平成31年2月
- 「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、平成31年2月6日)
- 「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、平成31年2月20日)
- 「はじめての万葉集 vol.61 大和三山の伝承」(「県民だより奈良」2019年5月号〔第395号〕、奈良県広報広聴課)、令和元年5月
- 「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、令和元年5月15日)
- 「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、令和元年5月29日)
- 「古代の“なりわい”を追いかける」(「TOBA SUPER AQARIUM」No.75、鳥羽水族館)、令和元年

万葉古代学係彙報（平成 31 年 1 月～令和元年 12 月）

7 月

「はじめての万葉集 vol.64 実らぬ木？」（「県民だより奈良」2019 年 8 月号〔第 398 号〕、奈良県広報広聴課）、令和元年 8 月

「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和元年 8 月 7 日）

「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和元年 9 月 4 日）

「はじめての万葉集 vol.67 天武天皇と持統天皇」（「県民だより奈良」2019 年 11 月号〔第 401 号〕、奈良県広報広聴課）、令和元年 11 月

「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和元年 11 月 20 日）

「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和元年 12 月 4 日）